

## 成績評価

### ① 評価方法

- 1) 成績評価は各科目毎の授業終了時に評価します。  
(ア)科目名の末尾にⅠ・Ⅱ、A・B等の記号が付されているものは、それぞれ独立した科目として扱う。
- 2) 成績評価は、その年度の試験の成績並びに出席率、普段の授業態度、確認テスト、課題提出、検定取得状況、大会成績等の資料によって総合して決定する。
- 3) 出席率が80%未満の場合、原則として評価は行わない。(D不可となる)
- 4) 実習系の科目評価は、提出課題や出席率で60点以上を合格とする。  
(ア)実習系の科目でも筆記試験を課すことがある。
- 5) 講義系の科目は、筆記試験を行い、100点満点で60点以上を合格とする。
- 6) 科目終了時の考査を欠席した場合、またはレポート等課題提出による評価を行い科目について、定められた課題提出期限までに提出がされない場合は追試となる。
- 7) 公欠等やむを得ない理由で科目終了時の考査を受験できなかった場合や、怪我等で出席不足が生じた場合は、所定の届け出(公欠届、診断書等)を提出することにより、別途に試験を受けることができる。
- 8) 評価形式  
成績評価はA、B、C、Dの4段階、およびPとする。
  - ・A(優) 80点以上
  - ・B(良) 70点以上
  - ・C(可) 60点以上70点未満
  - ・D(不可) 60点未満
  - ・P(認定)
- 9) 成績表  
成績表は学年末に作成し、本人及び保護者に通知する。

### ② 追試験

- 1) 以下の場合「D」評価となる
  - ・成績評価試験において、60点未満であった学生、成績評価試験を受けなかった学生及び出席率80%未満の学生。
- 2) D評価の学生は追試験を受けることができる。
- 3) 追試験を合格した科目はC(可)評価となる
- 4) 追試に合格しない学生の科目はD(不可)となる。
- 5) 追試にかかる追試料金は別途徴収する。

③ 認定試験

- 1) 追試験追試不合格者は認定試験を受験し、基準を満たした場合は成績評価を受けることができる。
- 2) 認定試験合格の科目の評価はC(可)となる。
- 3) 認定試験にかかる認定試験料金は別途徴収する